

令和4年度

岐阜県図画工作・美術教育研究大会 西濃大会



令和4年11月2日(水) 13:30~16:45

13:00~13:30 参加者オンライン (参加者は Webex で会議室に入室してください)

13:30~13:45 全体会

- ・西濃大会会長あいさつ 揖斐川町立北方小学校 長田 正樹 校長
- ・西濃大会の取組について

13:45~14:25 授業公開 (授業録画動画配信)

- 【小学校】 大垣市立中川小学校 服部 美和 教諭
- 【中学校】 大垣市立北中学校 高橋 古都美 教諭

14:25~14:45 授業公開指導講評

- 可茂教育事務所 教育支援課課長補佐 山本真司 様
- 飛騨教育事務所 教育支援課指導主事 横山大輔 様

14:45~15:20 実践発表

神戸北小学校 三輪 崇 教諭、不破中学校 土川 悠季弘 教諭、表佐小学校 桑原 良枝 教諭

15:30~16:00 「実践課題オンライン交流」

- 交流テーマ1 どう評価したらよいか迷います。評価についてどう説明していますか？
- 交流テーマ2 制作の進み具合に大きな差ができてしまいます。差を縮める方法はありますか？
- 交流テーマ3 教科書題材を扱う時のひと工夫は、どうすればよいですか？
- 交流テーマ4 図工や美術の授業でICTをどのように活用していますか？
- 交流テーマ5 子どもの目が輝く導入、終末の工夫について教えてください。

16:00~16:20 指導講評 岐阜県教育委員会 教育研修課課長補佐兼係長 清水 也人 様

<接続方法の詳細は別紙西濃大会の接続についてをご覧ください>

- ・本会はWebex によるリモート会議で行います、当日13:00より接続確認及び入室することができます。

入室用ID:2516 673 0549 パスコード:PhJs9pTJ6B2

- ・実践課題交流会を希望したテーマ別に行います。会議入室時にテーマ番号を氏名の前に入れてください。

(例 大野中学校 実践課題交流テーマ5番 小野由加里の場合)

「所属」+「全角スペース」+「テーマ番号」+「氏名(フルネーム)」 ⇒

大野中 2小野由加里

- ・入室後はビデオ・マイクをOFFにしてください。発表等へのご意見・ご感想はチャットにて受付いたします。

西濃大会の取り組みについて

1

2022ぎふ・西濃大会研究主題

ひとりひとりに「つくる喜び」を

～「つながり」を生かし、資質・能力を育む造形美術教育ひと・もの・ちから～

2

現状と課題

組織について

- ・部員数の減少と専門外教員による指導の増加
- ・若手教員の孤立感

指導内容について

- ・教科書題材の活用と指導方法
- ・つけたい力を明確にした題材開発、評価の在り方

3

本大会のねらい

- 東濃大会の財産の継承
- ひと・もの・ちからのつながり
- 現状に対応した持続可能な大会運営



つながりの中で、主体的に色や形などと豊かに関わることを通して、確かな技能と豊かな発想や構想で造形活動に生き生きと取り組む子どもの育成

4

西濃大会の方向性と重点

【方向性】

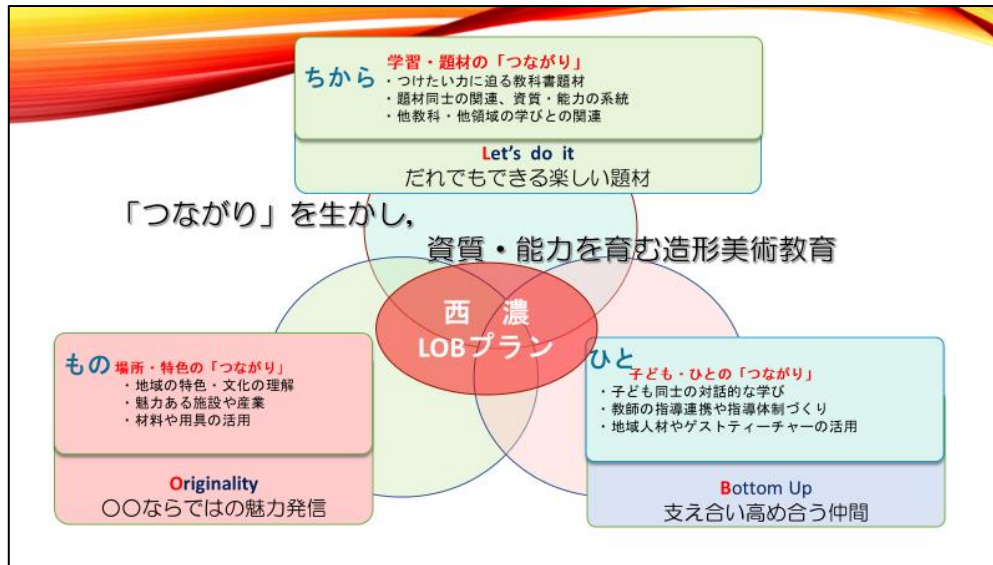
- ① 様々な地域、学校、専門外の教員でも扱える題材、指導課程の研究を通して実践者の資質向上を図る。
- ② 教科書題材の活用に力点を置き、その指導内容や魅力的な指導過程、評価の在り方を検証する。

5

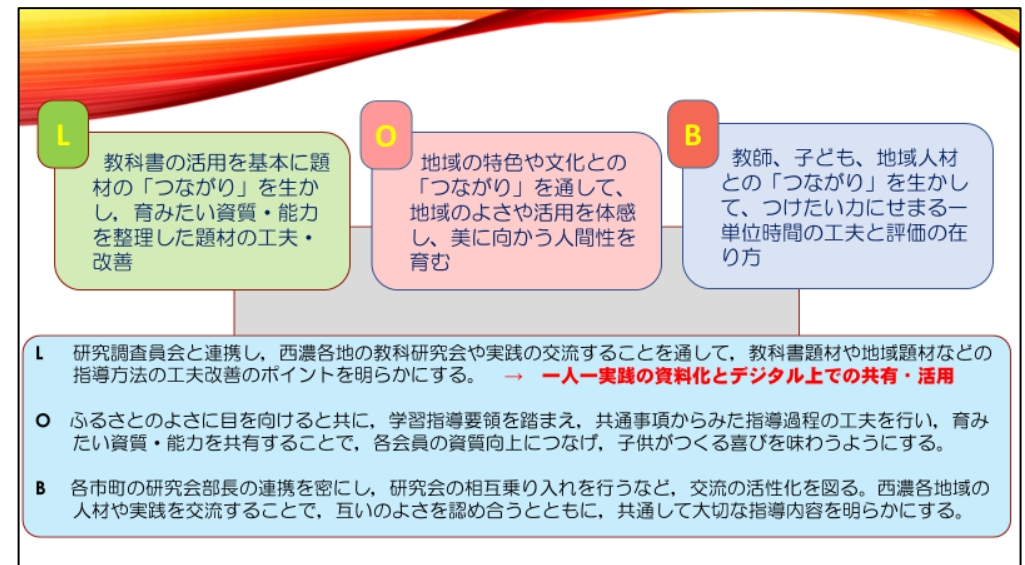
【重点】

- ① 持続可能な大会運営
- ② 図工・美術における指導過程の充実と携わる教員の資質向上
- ③ 地区、学校間、校種間の交流の推進

6



7



8

西濃一人一実践



9

「一人一実践集」より



10

今後に向けて

- ・現状に応じた大会運営の在り方を模索し、一人一人の実践力向上につなげる。
- ・各地域の独自性を保障しつつ、大会運営については、各地区に委ねるのではなく、小図・中美部会本部と連携し、進める。
- ・題材開発や単位時間の指導、評価の在り方等について、担当地域と小図・中美部会との連携の中で、焦点的な検証を進める。
- ・若手の人材育成を、全県下の課題とし、見通しを持って進める。
(研究調査委員会の充実)
- ・各種デジタルツールを活用し、県下の部員がつながり、成果や課題し、日々の実践に活かせるよう環境整備を進める。

11

岐阜県教育研究会 図画工作・美術部会 研究大会(西濃大会)

令和4年度 県小図・中美部会 研究主題

ひとりひとりに「つくる喜び」を
 ~「つながり」を生かし、資質・能力を育む造形美術教育 ひとものちから~

西濃地区の研究主題
 つながりの中で、主体的に色や形などと豊かに関わることを通して、
 確かな技能と豊かな発想や構想で造形活動に生き生きと取り組む子どもの育成

西濃地区の取り組みの具体

Let's do it **O**riginality **B**ottom Up

1

西濃大会で大切にしたもの「つながり」

L 学習・題材の「つながり」

- ・つきたい力に迫る教科書題材
- ・題材同士の関連、資質・能力の系統
- ・他教科・他領域の学びとの関連

O 場所・特色の「つながり」

- ・地域の特色・文化の理解
- ・魅力ある施設や産業
- ・材料や用具の活用

B 子ども・ひとの「つながり」

- ・子ども同士の対話的な学び
- ・教師の指導連携や指導体制づくり
- ・地域人材やゲストティーチャーの活用

2

L 学習・題材の「つながり」

・題材同士の関連、資質・能力の系統



3

L 学習・題材の「つながり」

・題材同士の関連、資質・能力の系統

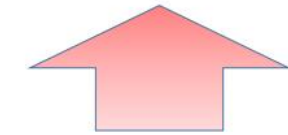


4

学習・題材の「つながり」 ・ 題材同士の関連、資質・能力の系統



子ども＝自然な学び
教師＝見通しをもった指導



小学校6年間、中学校3年間の
系統を理解する

5

学習・題材の「つながり」 ・ 題材同士の関連、資質・能力の系統



教科書指導書 3・4年上、下より抜粋

- ① 3年生工作「くぎうちトントン」
- ② 4年生工作「ギコギコトントンクリエイター」
- ③ 4年生立体「ひみつのすみか」

6

学習・題材の「つながり」 ・ 題材同士の関連、資質・能力の系統

4年生 立体
「ひみつのすみか」
第2時
製作の導入の場面



7

学習・題材の「つながり」 ・ 題材同士の関連、資質・能力の系統



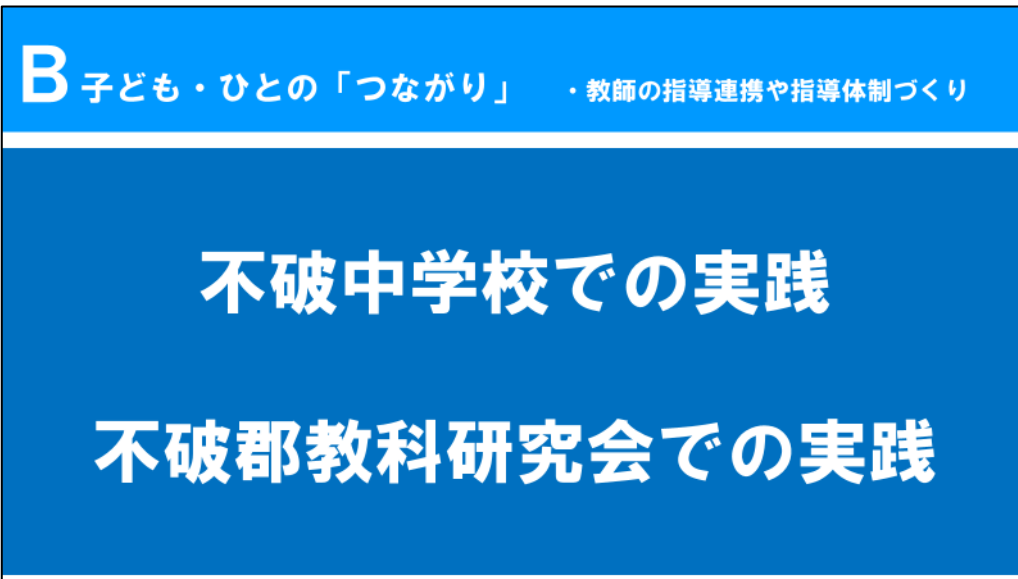
8



9



10



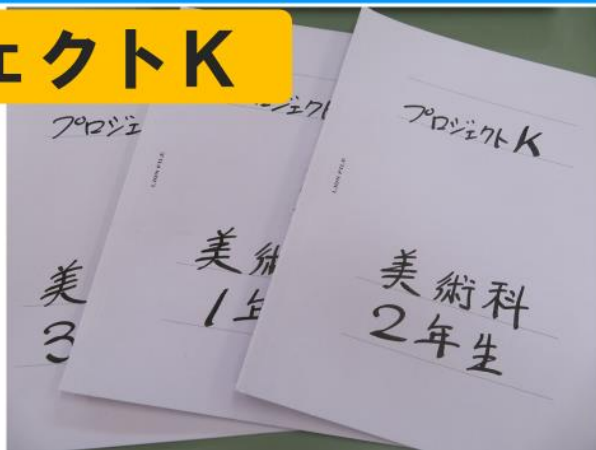
11



12

B 子ども・ひとの「つながり」 ・教師の指導連携や指導体制づくり

プロジェクトK



1 3

B 子ども・ひとの「つながり」 ・教師の指導連携や指導体制づくり

プロジェクトK

美術科 2年生「決意の形」～アイデアスケッチ①～

美術科 2年生「決意の形」～アイデアスケッチ②～

美術科 2年生「決意の形」～本書～No. 6, 7, 8

「組み立て」の種蒔!

※組み立て(接合)のコツ 半乾きの状態でベスト(ドライヤーを使う) 角に糊土を貼める。

※完成ポイント: 板づくりの厚み
・たたら版2～3枚重ね、薄すぎるとNG。
※「置き」 半乾き→スプーンで転で、乾燥 一紙やすり。

※置物 押し箱形 スパイラル→向上心 だけと置物が異なること... ※動話 動きを感じる全体像

※デフォルメ (単純化、省略、強調) 教科書下P20, 21

※資料提示スライドショー ①先輩作品 ②例えは美しい形。

※教科書上P16.17「自由に生きる」。

※成形方法 板づくり、ひもづくり、ろくろづくり、手びねり とある中で、板づくりで行う。一周土の中の空気が暖かく、美しく洗練された形をつくりやすい。

1 4

B 子ども・ひとの「つながり」 ・教師の指導連携や指導体制づくり

プロジェクトK



1 5

B 子ども・ひとの「つながり」 ・教師の指導連携や指導体制づくり

プロジェクトK

国語の学習を美術につなげる

【慣用句】
二語以上が結合し、その全体が一つの意味を表す言葉
「道草を食う」
「耳にたこができる」

主題をよみ
ためには
どうすればよ

1 6

B 子ども・ひとの「つながり」 ・教師の指導連携や指導体制づくり

アンケート結果

美術	分かる	楽しい
2 A組	7	11
2 B	14	18
2 C	6	9
2 D	15	14
2 E	10	13
2 F	7	8

17

B 子ども・ひとの「つながり」 ・教師の指導連携や指導体制づくり

不破郡小図・中美部会

垂井町

垂井小学校 合原小学校
東小学校 府中小学校
宮代小学校 岩手小学校
表佐小学校 北中学校
不破中学校

関ヶ原町

関ヶ原小学校
関ヶ原中学校

18

B 子ども・ひとの「つながり」 ・教師の指導連携や指導体制づくり

不破郡小図・中美部会

さあ、未来の宮代は、
どうなっているかな？



19

B 子ども・ひとの「つながり」 ・教師の指導連携や指導体制づくり

不破郡小図・中美部会



20

不破郡小図・中美部会

制作中の歩みの
よさを評価しよう！

主義

2 1

不破郡小図・中美部会



2 2

不破郡小図・中美部会

造形遊びのよさ・楽しさ



2 3

不破郡小図・中美部会



2 4

岐阜県教育研究会 図画工作・美術部会 研究大会(西濃大会)

令和4年度 県小図・中美部会 研究主題

ひとりひとりに「つくる喜び」を

～「つながり」を生かし、資質・能力を育む造形美術教育 ひと もの ちから～

西濃地区の研究主題

つながりの中で、主体的に色や形などと豊かに関わることを通して、
確かな技能と豊かな発想や構想で造形活動に生き生きと取り組む子どもの育成

西濃地区の取り組みの具体

Let's do it **O**riginality **B**ottom Up

大垣市立中川小学校

1年4組 服部美和

日時 令和4年9月28日(水)

1 題材名: 図画工作「ぺったんコロコロ」

A表現(1)ア, (2)ア, [共通事項](1)ア, イ

2 題材の目標

○身の回りの材料に絵の具をつけて写すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付く。また、スタンプの用具などに十分に慣れるとともに、写してできる模様を並べたり、つないだり、重ねたりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくる。

◎写してできる形や色などを基に、模様を並べたりつないだりするなど造形的な活動を思い付き、手や体全体の感覚を働かせながらどのように活動するのかについて考える。

○体全体を使って、いろいろな材料の形を写す学習に楽しく取り組み、つくり出す喜びを味わう。

3 児童の実態

○砂を掘ったり、粘土をこねたり、新聞紙を破いたり素材を体全体で楽しむ活動に意欲的に取り組むことができる。

●いろいろな保育園、幼稚園から来ており、それぞれのもつ経験が違う。また、お手本がないと不安で活動を始められない児童もいる。

4 西濃大会研究テーマとの関わり

<研究内容 L>

「でこぼこはっけん！」で身近に様々な凹凸のある「形」に気付いた。本題材へむけて材料集めをすることで「形の気付き」を継続させたい。自分が集めてきた様々な形に絵の具をつけ、繰り返し押ししたり、重ねたり組み合わせたりして模様を試す中で、形の面白さへの気付きをさらに深めることができると考える。

本題材で写してできる形や色の面白さを十分に味わい、写した形から発想を広げ、見立てる経験が「うったかたちから」で形を構成し表現する力へとつながっていく。

5 本時のねらい

材料の特徴を生かしながら、思いついたことを試し、いろいろな形を写すことを楽しむことを通し、並べる、つなげる、重ねるなど、新しい形(色)を生み出す方法を考えることができる。

6 本時の展開(1/2)

学習活動	研究との関わり
<p>つかむ</p> <p>1 いままでの学習を振り返る。</p> <p>・「でこぼこはっけん！」で手に入れた色々な魅力的な形を交流する。</p>  <p>児童が持ってきた 様々な素材</p> <p>「身の回りにある色々な形がくれたよ。」 「私の家でも色々な形を見つけてきたよ！」</p> <p>☆「これを押ししたらどんな形(色)になるかな。」 「でこぼこの形が模様みたいになるんじゃないかな？」 「ならべて押ししたら道みたいになりそうだね！」 「重ねると色も混ざって面白そう！」 ⇒ 「いろいろな形(色)をおしてみたい!!」</p> <p>2 課題を提示する。</p> <p>たくさんおして、すてきなかたちやいろをはっけんしよう。</p>	<p>《研究内容 L》</p> <p>・鑑賞題材「でこぼこはっけん！」で身近にある凹凸のある形をたくさん見つけたことを思い出し、形のもつ造形的な面白さを活用することにつなげる。</p> <p>《研究内容 B》</p> <p>・児童のつぶやきや発言をつなぎながら、押し方の様々な方法を引き出し、全体で共有することで、製作へのヒントにする。</p>
<p>考える</p> <p>3 いろいろな形や色のスタンプを写して試す。</p> <p>「すごく大きな紙に押せるんだね！たくさん押ししたいな。」 「この材料で押すと、どんな模様になるかな…」 「どんどん押すと楽しいな。」 「違う色で押ししてみようかな。」</p> <p>4 並べる、つなげる、重ねるなどして、新しい形(色)のおもしろさや美しさに気付く。</p> <p>「なみダンボールをつなげて押ししたら川の模様になった。」(並べる) 「形を重ねると違う模様に見えてきた。」(重ねる) 「友だちとつながったから、一緒に町をつくったよ。」(つなげる) 「色が重なって、お花畑みたいになったよ。」(重ねる)</p>	<p>《研究内容 B》</p> <p>・ロール紙を広げてグループで活動し、自然と近くの子の活動を目にしたり、形が重なって一緒につくりだしたりする中で、新たな表現に気付いたり、互いの表現が重なってより魅力的な表現を見つけることができる。</p> <p>・活動の中で子どもが工夫したり、おもしろいと感じたりしている部分を読み取り、共感しながら声かけを行う。</p>
<p>まとめる</p> <p>5 本時の活動を互いに見合い、振り返る。</p> <p>「四角い形が繋がって、竜みたいに見えてかっこいいな。」 「ぐにやぐにや並べて道路みたいになってすごい。」 「形と色が重なって色々な花がさいているみたいできれいだな。」 ⇒ ☆色々な押し方で、素敵な形(色)ができたよ！</p>	<p>《評価規準》(思考・判断・表現)</p> <p>材料の形や色などを基に造形的な活動を思いつくことができる。</p>

大垣市立北中学校

2年3組 高橋 古都美

日時 令和4年10月14日(金)

1 題材名「季節を味わう和菓子のデザイン」

A表現(1)イ(ア)、(2)B鑑賞(1)ア(イ)イ(イ)

2 題材の目標

○自然や季節を感じさせる形や色彩に着目し、造形物の美しさをとらえ、材料や用具の特性を生かし、見通しをもって表す。

◎七十二候のイメージから設定した主題をもとに、形や色彩、材料などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。

○生活に息づく美術の働きに気づき、季節感を表すことに関心をもち、意欲的に取り組む。

3 生徒の実態

○どの題材にいても柔軟なアイデアを出し、積極的に取り組むことができる。

●完成を見通して、発想や構想をする力が弱く、一度考えたアイデアに満足してしまう傾向がある。

4 西濃大会研究テーマとの関わり

〈研究内容 L〉

日本の伝統文化や暦、四季の自然など、生徒の身近にある和菓子を通して、「もの」とのつながりを大切にしたい。とりわけ、「七十二候」という古い暦を提示し、限定することで、季節感やその季節に合った色や形などと主体的に関われるようにした。

〈研究内容 B、O〉


導入時に和菓子職人の思いや使用する用具などに触れることで、「ひと」とのつながりを大切にしたい。和菓子を提供する相手に対する思いや、色や形に込められた思いなどに触れることで、興味・関心が高められるようにした。地域の和菓子店とのつながりから、地域とのつながりも生まれた。

5 本時のねらい

主題と前時のアイデアスケッチをもとに習作する活動を通して、用具とその使い方によって表現が変わることに気づき、用具とその使い方を工夫しながら、主題をよりよく表す方法を考えることができる。

6 本時の展開(5/11)

準備	学 習 活 動	研究との関わり
----	---------	---------

つかむ	<p>1 前時のアイデアスケッチを振り返り、自己課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『「山茶始開(つばきはじめてひらく)」を基に、山茶花の何枚かの花びらが寄り添って大きな一つの花になるように、これからやってくる寒い冬を支え合って乗り越えていこう』という主題をよりよく表す方法を見つきたい。 <p>2 比較資料をもとに、本時の制作の見通しをもつ。</p>	<p>〈研究内容 L〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ペア交流を通して、自分が設定した主題と前時の「情景の切り取り方」の表現を振り返ることができるようにする。 油粘土を使用することで、自分の主題に合うように何度も形を変えたり、複数作って比較したりして、主題をよりよく表す方法を考えられるようにする。 提示資料の表現意図を語ることで、用具とその使い方の効果を主題とつないで考えることができるようにする。 継続してアイデアスケッチをやりたい生徒、形がある程度決まったうえで、色の追求がしたい生徒には、再度アイデアスケッチのプリントを渡す。
考える	 <p>跡を付ける</p> <p>パーツを貼り付ける</p> <p>切り込みを入れる</p> <p>跡を付け、うっすらと花びらの形を浮かび上がらせることで、桜の花びらの丸い優しい雰囲気を表した。</p> <p>花びらのパーツを貼り付け、桜の花をはっきりと見せることで、桜がぱっと咲き誇る雰囲気を表した。</p> <p>花びらの先端に切り込みを入れることで、たくさんある花びら一枚一枚の形の繊細さを表した。</p> <p>3 本時の課題を考える。</p>	

主題をよりよく表すには、どんな表現方法を活用し、どのように工夫するとよいだろうか。

深める	<p>4 主題とアイデアスケッチをもとに、油粘土を使って試作する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『新しく草木が生え始める様子』という主題をよりよく表すために、うっすらと浮かび上がるようにしたいので、「跡を付ける」をやってみよう。 『枯れ葉が落ちていく様子』という主題をよりよく表すために、落ちた枯れ葉が重なり合う様子を表現したいので、「貼り付ける」を使ってみよう。 『菊の花の細長く先が尖った様子』という主題をよりよく表すために、一枚一枚の形が分かるように、「切り込みを入れる」表現を使ってみよう。 	<p>《評価規準》思考・判断・表現</p> <p>主題をよりよく表すための用具やその使い方を試し、その中から意図を明確にして適切な表現を考えている。</p>
-----	---	--

まとめる	<p>5 本時の学習で学んだことを振り返り、次時への見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『新しく草木が生え始める様子』という主題をよりよく表すために、うっすらと浮かび上がるように、「跡を付ける」をやってみただけけれど、「貼り付ける」もやってみて、新しく芽が出た様子を立体的に強調することができたと思う。次回は、新芽の形をもっと追求していきたい。 	<p>全体交流の時間を設定し、表現の比較が適切にできている生徒の作品を紹介し、次時の活動に生かすことができるようにする。</p>
------	--	--